



はぶかわ しょうとく ● 京都大学法学部卒。外務省入省後、語学研修生として在スペイン大使館所属、スペイン外交官学校卒、在ベネズエラ大使館勤務。本省経済協力局技術協力課、政策課、軍備科学審議官組織兵器関連物資等不拡散室を経て、2004年1月より現職

『沈黙の艦隊』から『ちびまる子ちゃん』まで

エルサルバドルは中米の太平洋側に位置する面積約2万平方キロ（日本の四国より少し広い程度）、国内人口は約700万人の小さな国である（これに加え、300万人ほどのエルサルバドル人が米国を中心とする海外で生活している）。1970年代終わりに始まった内戦は10年以上続き、多くの犠牲者や難民を生み出しただけでなく、エルサルバドルの社会・経済発展を著しく阻害する結果となった。92年1月、政府側とゲリラ側の和平協定調印が実現し、内戦はようやく終結、再建が始まった。日本政府も港湾、道路といったインフラ整備、学校、給水システムの整備といった社会開発、国立劇場への照明・音響機材供与といった文化協力などのさまざまな分野で当国の再建に向けた取り組みに対しての協力を実施している。また、当国は、日本と同様に地震、ハリケーン、火山噴火などの自然災害に頻繁に見舞われそのたびに大きな被害が発生してきたが、そういった厳しい自然環境のなかでも人々はよ

り良い将来に向けて努力している。

マンガ本は日本の数倍の価格

こういった取り組みを継続するエルサルバドルにとって、第二次世界大戦により荒廃した国土を復興、世界第2の経済大国に成長し、また自然災害に対する取り組みも進んでいる日本に対



(注) 2005年2月〜3月に実施の中南米巡回アニメ映画祭は、本稿で報告のエルサルバドルの首都サンサルバドルで実施の後に、同国サンタアナ市、セントドミンゴ（ドミニカ共和国）、テグシガルバ（ホンジュラス）に巡回した。

はぶかわしょうとく
土生川正篤
在エルサルバドル日本大使館一等書記官

する評価は高く、それは、日本の経済に対してのみならず、空手、柔道、生け花、日本食といった日本の伝統文化、習慣などに対する高い関心となつても現れている。

なかでも、日本のアニメに対する関心は非常に高く、日本大使館がここ数年主催している「日本アニメイラストコンテスト」には小学生から大人まで、



在エルサルバドル日本大使館が主催している「日本アニメイラストコンテスト」。小学生から大人まで、毎年1000通近い応募がある
写真提供：筆者（以下も同じ）



高橋留美子のマンガ『犬夜叉』のスペイン語版を手にした書店員。書店では翻訳された日本のマンガ本が入手できるが、値段は日本の倍以上

毎年1000通近い応募があり、授賞式の模様は当地のメディアでも報道されている。

当地テレビ局でも『るろうに剣心』(当地では『Samurai X』という題名になっている)、『ポケットモンスター』、『ドラゴンボール』といった比較的新しいものから、昔懐かしい『キャンディ・キャンディ』、『アルプスの少女ハイジ』などの日本アニメも放映しているが、著作権の関係もあり、作品数自体はかなり限られており、ケーブルテ

レビを視聴できるかなり裕福な階層を除き、関心は高いものの日本のアニメに触れる機会はさほど多くない。

また、日本のマンガをスペイン語に翻訳したものも限られた種類ながら、書店などで売られているが、日本の倍以上の値段がつけられているため、エルサルバドルの平均的な所得水準の家庭(当国の1人当たりGNPは約2000ドル)では簡単に購入できないのが現実である。こういった背景もあり、日本大使館に対しても日本アニメを当国で上映してもらいたいという声がかれまでも多く寄せられていた。

日本アニメ映画祭に 長蛇の列

そこで、日本・エルサルバドル外交関係樹立70周年にあたる昨年、常陸宮同妃両殿下が日本の皇族として初めてエルサルバドルをご訪問され、また、東京においては日・中米各国首脳会合が開催されるなど、さまざまな記念行事が行なわれたが、文化交流という側面にもスポットを当て、その一つとして、ジャパンファウンデーションの協力を受け、日本アニメ映画祭を実施することとなった。2月1〜5日の5日



日本アニメ映画祭に詰めかけた地元のファンたち。会場前には長蛇の列ができた

間にわたり開催された同映画祭では、連日、上映2時間以上前から長蛇の列ができ、250名収容の映画館では到底入りきれないため、映画館側の特別の配慮を得て、急遽2カ所の映画館で上映することとし、事なきを得た。映画祭の様子はテレビや新聞などでも大きく報道され、我々が期待していた以上の反響の大きさはうれしい驚きであった。

映画祭では、『攻殻機動隊』『沈黙の

「沈黙の艦隊」
かわくちかいじのマンガを原作にしたオ
リジナル・ビデオ・アニメーション(高
橋良輔監督、1996年。日米共同で極
秘裏に建造された日本初の原子力潜水艦
が反乱逃じ、独立国を宣言し、日米両国
と対峙する

「Uchi no Yama ni wa」
さくらももこのマンガを原作にしたアニ
メ。テレビアニメは1990年より放映
65年生まれの作者の静岡県清水市で過
した小学生時代の普通の生活を描いたコ
メディ。劇場版も2作つくられ、05年の
中南米巡回アニメ映画祭では、その1本
「ちびまる子ちゃん 大野君と杉山君」
(90年、芝山努監督)が上映された

艦隊』「ちびまる子ちゃん」の3作品
を上映したが、当地においてもいわゆ
るアニメマニアと言われる人々が存在
し、特に『攻殻機動隊』には若者の中
心に多くのファンが集った。「沈黙の
艦隊」は日本では社会問題にまでなっ
た作品だが、テーマが真面目なものだ
けに、観客の皆さんも真剣な表情で鑑
賞していた。日本の憲法・政治・防衛
問題などについてある程度事前の知識
があれば、さらに正しく作品の意味を
理解してもらえたであろうと思われる。
『ちびまる子ちゃん』は家族で楽しめ
る作品で、上映中もあちこちで笑い声
が起こり、70年代の日本の日常生活の
一端を当国の人々に理解してもらうの
に最適であった。それぞれ趣の異なる
3本を上映したが、いずれの作品も来
訪者から好評を博し、定期的にこのよ
うなイベントを開催してもらいたいと
の要望が多く寄せられた。
とはいえ、予算の範囲内で、使用料
を払った上で、スペイン語に吹き替え
あるいは字幕を付けて無料で上映でき
るような日本のアニメ作品の数は極端
に限られているため、このようなイベ
ントを定期的の実施できないことは非
常に残念である。

アニメを通じた 日本への関心の高まり

先進国においてはかなり以前から、
また、エルサルバドルのようないわゆ
る開発途上国においても、数年前から
日本アニメに対する関心が急速に高ま
っている。中国等の経済成長に伴い、
世界における日本語、あるいは日本文
化に対する関心の相対的な低下が危惧
されているなか、多種多様な題材を扱
う日本アニメの普及は、単に日本語に



地元FMラジオ局で週3回放送されるアニメ専門の番組。日本大使館主催の行事や、日本への留学案内などについても紹介する

対する関心を高めるだけでなく、日本
の社会、文化、習慣や日本人の考え方
などについて発信できる非常に有効な
ツールになるとともに、途上国におい
ては、日頃は接する機会が少ない娯楽
の提供という意味でも、大いに歓迎さ
れている。

例えば、当国で唯一の国立大学であ
る国立エルサルバドル大学(UES)
では、日本語のクラスが開講されてお
り、青年海外協力隊員として派遣され
た日本語教師が、日々熱心に指導され
ているが、当国で日本語を習おうと考
える学生は、例えば中国や韓国で多く
見られるような、将来の就職活動に資
するからという動機とはかなり異なっ
ている。当地に進出している日本企業
の数は非常に限られており、日本語を
学習することが将来の仕事に役立つ可
能性はそれほど高くない。にもかかわらず、
当国の学生は、日本文化あるいは
日本語を学ぼうとしており、そのなか
には日本そのものに対する高い関心から
日本語を学ぼうとしており、そのなか
でも日本アニメ、あるいはマンガを原
語で理解したいという学生が非常に多
く見られる。

また、当国のFMラジオ局で週3回
アニメ専門の番組が放送されており、そ



日本アニメ映画祭の様を取り上げた新聞

のなかで日本大使館主催の行事や、日本への留学案内などについても紹介してもらっているが、この番組を聞いて大使館に問い合わせてくる方が非常に多くなっているのが最近の特徴である。さらに昨年は、「敷居の低い日本語世界への誘い」という目的で、大使館としても初めての試みとなる「日本の歌のど自慢大会」を実施したところ、日本のアニメの主題歌を選択した参加者の数は、大人も含め全体の9割に上った。

こういった例をいくつか挙げるだけでも、日本アニメが持ちうる影響力というものをご理解いただけたと思う。もちろん、当国においても日本アニメが無条件に高い評価を受けているだ

けではなく、あまりに暴力的な作品が子どもに及ぼしうる影響に対する批判もあり、こういった日本アニメの「否定的な部分」についてどのように考えるかについて、私も当国の新聞社の取材を受けたことがある。

重要な点は、日本アニメであれハリウッド映画であれ、すべて若年層に対する影響という観点からは、有益なものもあればそうでないものもあるなか、商業主義に依らない立場から、何を取捨選択するかを正しく見極めることだと考える。

そのためにも、海外において、日本に対する正しい知識と良い印象をその国の人々に持つてもらいたいという意識で活動している在外公館の視点からは、海外において紹介するに相応しい日本アニメを少しでも多く提供していただけることを関連企業及びジャパンファウンデーションに強く期待するものである。

よいものは柔軟に 受け入れる文化的土壌

また、日本ではアニメは基本的に青少年を対象としたもので、例えば大人が電車のなかでマンガを読んでいるこ

とを批判するような風潮がある。当国の場合、そのような先入観（あるいは偏見）はそれほどはつきりとは見受けられず、アニメであっても楽しいもの、質の良いものであれば、老若男女を問わず受け入れられているという印象がある（日本では甘味処に男性だけで行くのは気恥ずかしいというイメージが定着しているが、当国ではおいしいものは男女を問わず好まれるというのとよく似た感覚であろうか。ちなみに当国では日本食に対する関心も日々高まっており、エルサルバドル在留の日本人は200名あまりしかいないにもかかわらず、日本料理と名の付くレストランは十数件あり、多くのエルサルバドル人で賑わっている）。

こういった点を勘案しても、日本から良質のアニメを提供すれば、マニアや若年層だけでなく、当国の国民一般に広く受け入れられる土壌が整っており、それがひいては、日本に対する親近感の形成、さらには友好関係の促進にも繋がるものになると思われる。

我々大使館員も、日本文化の一つになつた日本アニメの素晴らしさをエルサルバドル国民にさらに広く紹介していくため、積極的な活動を展開していきたいと考えている。

